

2014年9月
印刷の月

Print tomorrow ~ 明日のいいこと、印刷から ~
2014年9月印刷の月 記念式典
一般社団法人 日本印刷産業連合会

功労賞、振興賞、特別賞を表彰 第13回印刷産業環境優良工場表彰 株式会社六三印刷に経済産業大臣賞

一般社団法人日本印刷産業連合会が主催する「2014年9月印刷の月」記念式典は、9月17日（水）午後4時30分から東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「鶴の間」で開催され、日印産連表彰で印刷功労賞13氏、印刷振興賞17氏、特別賞1個人1団体が表彰された。また、第13回印刷産業環境優良工場表彰では、六三印刷株式会社 水沢工場が経済産業大臣賞、経済産業省商務情報政策局長賞2工場、日印産連会長賞4工場、同特別賞1工場、同奨励賞10工場がそれぞれ表彰された。また、印刷の月公募ポスターの表彰では、凸版印刷株式会社情報コミュニケーション事業本部の後藤武臣氏が受賞。稲木歳明会長より賞状と記念品が贈られた。

このあと、午後6時から650名を超す参加を得て懇親会が盛大に開催され、表彰受賞者を囲んで和やかな歓談が繰り広げられた。

これより先、午後3時から関西大学政策創造学部教授の白石真澄氏を講師に招き「元気が出る経営：女性と高齢者の雇用推進」をテーマにダイバーシティ構築の重要性を学んだ。

記念式典は、全員起立しての国歌斉唱に続き、主催者を代表して稲木歳明会長が、ご出席のご来賓、会員、関連業界の出席者に御礼を述べた後、「4月の消費税増税以降、景気の先行きに不安がありました。日銀の判断では、おおむね“想定範囲内”としており、夏以降景気の回復が期待されておりました。しかしながら、ここへきて台風や大雨などの天候不順が消費を冷やしており、また生産や輸出などの持ち直しの動きも鈍く、景気の回復基調に戻るための正念場を迎えております。一方、6

月にはアベノミクス最大の焦点であった新成長戦略が閣議決定され、岩盤と呼ばれた『雇用』『農業』『医療』分野の規制改革と法人税改革に踏み出しました。日印産連としても景気の動向、政策の進捗状況を注意深く見守っていきたいと考えております。

日本印刷産業連合会は、1985年の設立から30年目を迎えました。その間、日本の経済は情報化、グローバル化が進展し、印刷産業も、事業の多角化やデジタル化等を進めながら、事業領域を着実に拡大してまいりました。しかし、残



主催者を代表して挨拶する稲木歳明会長



来賓祝辞・富田健介経済産業省商務情報政策局長

念ながら、印刷産業の出荷高は90年代をピークに低下が続いています。

日印産連は、印刷産業の持続的な発展を目的にスタートした団体です。そこで本年度は、従来の活動に加えて、今後の役割や活動テーマを再検討するための「グランドデザイン」の策定を進めています。

「グランドデザイン」の基本的な考え方は二つです。一つは、各団体の実態を踏まえながら日印産連の役割を再認識すること、もうひとつは業界としての社会的責任を重視することです。

これらの行動を軸として印刷産業ならではの技術・ノウハウ・製品・サービスなどを提供することにより、我が国の産業発展へ貢献し、広く社会から信頼を得ることであると考えております。そして、この社会的責任を踏まえて、印刷産業を未来へとリードする団体に生まれ変わっていきたいと考えております。

今後は、関係省庁のご指導のもと、会員10団体並びに関係団体の皆様ともご相談しながら、「グランドデザイン」の策定を進め、次世代への体制準備に取り組んでいく所存です。

さて、「印刷の月」は、印刷産業の活動を広く社会にアピールし、理解を深めて頂くとともに、我々印刷産業人が社会的・文化的役割の認識を深め、印刷産業の一層の発展に向けて、共に努力することを確認する場でもあります。

記念式典では印刷産業の発展向上に寄与された方をはじめ、業務の進歩改善に貢献された技術者の方、後進の指導ならびに業界指導に貢献された方など31名と1団体が、「日本印刷産業連合会表彰」を受賞されます。また、「印刷産業環境優良工場表彰」については、18の工場が受賞されます。受賞の皆様は心から敬意を表するとともに、業界発展のために今後もご尽力賜りますようお願い申し上げます」と開会の挨拶を行った。

ついで司会者より出席のご来賓が紹介されたあと、代表して経済産業省商務情報政策局長の富田健介氏が本式典で表彰される方々のご努力に祝意を表明した後、「昨年はアベノミクスによる株式市場の好転、そしてなによりも2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定が回復の兆しが見えてきた年であったかと思います。しかしながら今年に入りまして全体としてはまだ回復の足取りが続いていると言

2014年印刷の月アピール・全日本印刷工業組合連合会
常務理事・女性活躍推進室委員長の吉澤和江氏

2014年9月 印刷の月 アピール

2014年9月印刷の月を記念して、私たち印刷人は本日一堂に会し、印刷産業が社会に対して果たすべき責任と使命を改めて確認するとともに、この産業にたずさわる誇りと喜びをわからあいたいと思います。

さて、安倍内閣が進めている「日本再興戦略」の一つの柱として女性の活躍促進が掲げられています。われわれ印刷産業においてもまた、経営はもちろん、営業・企画部門などでは、従来以上に生活者意識をもとにした感性豊かな行動が求められ、女性の参画、そして活躍を進めることがとてもたいせつなテーマとなっています。技術製造部門での女性の活躍するシーンも着実に増えつつあります。

女性が活躍する会社、女性の働きやすい職場とは男性が働きにくい会社ということではありません。女性が活躍できる会社、働きやすい職場とは、個々の多様性を尊重することで、新たな価値の創造やお客様に対する斬新な提案のできる組織になるということです。厳しい環境に置かれている印刷産業ではありますが、お客様との厚い信頼関係のもとに、お客様の課題解決に積極的に参画していくことで、これからも発展を続けていくことができるでしょう。その意味で、女性の活躍促進こそがこれからの印刷産業発展の鍵を握っていると言っても過言ではありません。

働き方の多様性、労働安全衛生への取り組み、さらには地球環境保全への対応など、これからも新たに取り組むべき経営課題は尽きませんが、ここに集まる会員10団体は、こうした環境変化にも柔軟に対応し、社会の持続可能な発展のために、力強く事業を進めていくことをここに表明いたします。



印刷功労賞受賞者を代表して表彰状を受ける
谷忠明氏（㈱オレンジ社）

印刷功労賞



印刷功労賞受賞の諸氏

われていますが、地域の格差が大変大きくなってくるとの懸念も耳にします。日本の経済を再生させるというアベノミクスの取り組みを全国津々浦々にまで広げて、そして国民の皆様一人一人が景気回復を本当の意味で実感できるように取り組んでいくことが、私たち最大の政策課題であると考えています。

9月3日、茂木経済産業大臣の後を受けまして、小渕優子経済産業大臣が就任し、早速大臣のもとでローカルアベノミクスを旗頭として地域の活性化、そのための政策に全力を挙げていこうという取り組みが今始まったところでございます。ある意味では、印刷産業を含めて地

域の産業がより元気を取り戻せるように引き続き取り組んでまいります。

先ほど会長からお話でしたが、グランドデザインの策定に向けての取り組みに対しても何かお役に立てることがあれば後方支援をさせていただきたいと考えております。

また連合会の環境への取り組みには、私も大変注目をさせていただいております。今回表彰の榮譽を受けられます各受賞者の皆様方のこれまでのご努力を顕彰するとともに、またこれから皆様方が模範となって、さらに業界全体としてこのような取り組みが広がっていくということを期待したい」と述べ、祝辞とした。

このあと、全日本印刷工業組合連合会常務理事・女性活躍推進室委員長の吉澤和江氏が登壇、「2014年9月印刷の月アピール」(別掲)を朗読、満場の拍手でこれを採択した。

続いて、平成26年度の日本印刷産業連合会表彰に移り、印刷功労賞、印刷振興賞、特別賞の表彰が行われた。

印刷功労賞には、別掲13氏(9～11頁)が表彰され、代表して株式会社オレンジ社・谷忠明氏に稲木会長より表彰状が授与された。このあと、壇上で、稲木会長を囲んで記念撮影が行われた。

印刷振興賞には、別掲17氏(12～14頁)が表彰され、2組に分け



印刷振興賞受賞1組目の諸氏



印刷振興賞受賞者1組を代表して表彰状を受ける和田秀一郎氏（㈱プロゴウス）

印刷振興賞



印刷振興賞受賞者2組を代表して表彰状を受ける
永野雅子氏（㈱飛鳥）



印刷振興賞受賞2組目の諸氏



特別賞受賞の勝井三雄氏と大阪府グラフィックサービス
協同組合コスモス会会長の岡加代子氏

特別賞

授与式が行われた。9氏が登壇した第1組は、代表して和田秀一郎氏（㈱プロゴワス代表取締役社長）が代表して稲木会長より表彰状が贈呈された。

2組目は、8名が登壇、代表して永野雅子氏（㈱飛鳥常務取締役）に表彰状が贈られた。

各種活動を通じて印刷産業界の地位向上に寄与した個人・団体などに贈られる特別賞は、勝井三雄氏（株式会社勝井デザイン事務所）と、大阪府グラフィックサービス協同組合コスモス会（登壇は岡加代子会長）の1個人1団体に表彰状と記念品が贈呈された。

今年度の環境優良工場表彰は 18 工場

引続き第13回環境優良工場表彰式に移り、今年度は経済産業大臣賞1工場、商務情報政策局長賞2工場、日印産連会長賞4工場、同特別賞1工場、同奨励賞10工場の計18工場の表彰が行われた。

経済産業大臣賞は、六三印刷株式会社・水沢工場の代表取締役社長・島村信彦氏、専務取締役・阿部光悦氏に経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長・柏原恭子氏より賞状と記念トロフィーが授与された。

ついで、商務情報政策局長賞には文唱堂印刷株式会社・町屋総合

工場（工場長・池谷 崇氏）とトッパンフォームズ・セントラルプロダクツ株式会社・滝山工場（常務取締役・横田 真氏）の2工場に賞状が柏原課長より授与された。

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞には、株式会社光邦・新座工場（取締役生産本部長・東原弘志氏）、荏原印刷株式会社（代表取締役社長・仁科定氏）、創文印刷株式会社・本社工場（代表取締役社長・木村篤義氏）、株式会社ダイコー・本社工場（代表取締役社長・竹下晋司氏）の4工場、引き続き、日印産連特別賞には杉山メディアサポート株式会社・都田工場（代表取締役・大高里枝子氏）が登壇、受賞社各社に稲木会長より表彰状が贈られた。

ついで、奨励賞には株式会社アイブリコム・田原本事業所、共同精版印刷株式会社・奈良本社工場、株式会社岐阜文芸社・本社工場、河北印刷株式会社・本社工場、株式会社谷印刷、本間製本株式会社・三芳工場、株式会社共栄メディア・メディアセンター、株式会社ヒロミ産業・本社工場、ナベプロセス株式会社・サテライトビル、株式会社豊成産業・八潮工場の10工場が選ばれ、代表して、株式会社ヒロミ産業の大和誠取締役会長に稲木会長より賞状が授与された。

引き続き『9月印刷の月公募ポスター』最優秀賞受賞者の表彰式に移り、応募総数74作品のなかから、厳正な審査により最優秀賞は凸版印刷株式会社（情報コミュニケーション事業本部トッパンアイデアセンタークリエイティブセンター）の後

環境優良 工場表彰



経済産業大臣賞
六三印刷株式会社・水沢工場
代表取締役社長・島村信彦氏、専務取締役・阿部光悦氏



経済産業省商務情報政策局長賞
文唱堂印刷株式会社・町屋総合工場
工場長・池谷 崇氏



経済産業省商務情報政策局長賞
トッパンフォームズ・セントラルプロダクツ株式会社 滝山工場
常務取締役・横田 真氏



日印産連会長賞
株式会社光邦・新座工場
取締役生産本部長・東原弘志氏



日印産連会長賞
荏原印刷株式会社
代表取締役社長・仁科 定氏



日印産連会長賞・創文印刷工業株式会社・本社工場
(代表取締役社長・木村篤義氏)



日印産連会長賞・株式会社ダイコー・本社工場
(代表取締役社長・竹下晋司氏)



日印産連特別賞・杉山メディアサポート株式会社
・都田工場 (代表取締役・大高里枝子氏)

藤武臣氏の作品が選ばれ、稲木会長より賞状と記念品が贈られた。

このあと、受賞者を代表して、印刷功労賞を受賞した望月克彦氏(望月印刷(株)代表取締役会長)が謝辞に立ち、「今回受賞された皆様、及び過去に受賞された方々は皆様、印刷業界並びに所属される企業その他に大変功績を上げられている方ばかりでございます。

平成のはじめ、いわゆるバブルが弾けて以来、日本全体が低迷期に入り今も続いております。その間印刷業はアナログからデジタルの時代に大きな変革を遂げましたが、その後もリーマンショックや東北大地震などもあり、印刷業界は低迷



奨励賞受賞の10社

から抜け出せないのが現状だろうと思います。しかし印刷の大きな使命の一つとして情報を広く正しく伝達するということは、日本の教育に大変大きな貢献をしたと考えています。その教育が産業の活性化を生み、そして日本がここまで先進諸国の仲間入りをした大きな功績だと思います。

印刷の基礎技術そのものは広く産業の中にも入り込んで大きな力を発揮しております。その産業の中に身を置きましたことを誇りに思うと同時に、自信を持って今後とも印刷産業に係っていきたいと思っています。今回の受賞を機に心新たに少しでもそんな目標を達成できるように努力したいと思っています」と謝辞を述べた。

最後に、浅野健副会長が閉会の挨拶に立ち、「女性活躍推進に印刷産業界あげて取り組んでいるな



奨励賞・株式会社ヒロミ産業の大和誠取締役会長



公募ポスター 最優秀賞受賞の凸版印刷株式会社
情報コミュニケーション事業本部の武藤武臣氏

か、経済産業省文化情報関連産業課に柏原課長がご就任されました。とても心強く感じております」と述べ、2014年印刷の月の記念式典を終えた。



受賞者代表謝辞・望月克彦氏



閉会の辞・浅野健副会長